

令和2年度 学校評価アンケート(年間評価)結果について

1. 生徒アンケート集計と分析

生徒

質問項目	重要度	実現度
係やそうじ、委員会の仕事がしっかりできている。	6.5	6.1
友だちに嫌な思いをさせないようにしている。	6.7	6.1
学校のきまりや約束事を守っている。	6.5	6
学校に行くことが楽しい。	6.4	5.8
先生や友だちから大切にされていると感じる。	6.4	5.8
家族と過ごす時間を大切にしている。	6.3	5.6
授業に必要な準備をし、前向きに授業に参加している。	6.7	5.7
礼儀や言葉遣いに気をつけている。	6.5	5.6
自分から進んでいさつをしている。	6.3	5.5
家の手伝いをするなど、家族の一員としての役割を果たしている。	6.2	5.1
困ったことは、先生や家族に相談している。	6.2	4.9
平日課題の取り組みや、家庭学習(塾や家庭教師の時間を含む)に、平均して1日1時間以上取り組んでいる。	6.1	4.8
学校からの配布物は保護者に渡している。	6.3	4.9
授業の内容はよくわかる。	6.8	5.1
早寝・早起き・朝ごはんなど規則正しい生活ができている。	6.5	4.9
ケータイ・スマホ・ゲーム等の使い方や時間について、ルールを決めて使用している。	5.7	4.4
いじめなどで困った時に相談できる「いじめ対策委員会」が学校にあることを知っている。	5.9	4
1日平均30分以上(朝読書を含む)読書をしている。	4.9	2.9

○数値の計算方法について

重要度「とても重要である」…7「やや重要である」…5「あまり重要でない」…3「重要でない」…1

実現度「とても出来ている」…7「やや出来ている」…5「あまり出来ていない」…3「出来ていない」…1

※達成度が高い(重要度が高く、重要度と実現度の差が小さい)項目の順に上から並べてあります。

昨年度との比較では18項目中12項目で昨年の同時期より実現度が上がっており、特に「平日課題の取り組みや家庭学習に、平均して1日1時間以上取り組んでいる」と「授業の内容はよくわかる」が3~4ポイントの大幅な上昇となっています。教職員の授業改革の取り組みと生徒の学習への意識改革がこの結果につながっていると考えられます。中間評価でコロナでの休校期間の影響が懸念された「ケータイ・スマホ・ゲーム等の使い方や時間について…」「困ったことを相談できている」の二つの項目も昨年度より上昇している。上位の5項目は、順位も実現度もほとんど変わらず上位にあります。「係やそうじ、委員会の仕事がしっかりできている」「学校の決まりや約束事を守っている」「友達に嫌な思いをさせないようにしている」の3項目は「重要度」「実現度」とともに高い数値になっており、神川中学校の生徒がこの3項目を本当に大切にしていることがわかります。決まりや約束を守り、自分の役割をしっかりとこなし、楽しい学校になるようにしようとしていることが「学校に行くことが楽しい」という結果につながっていると考えられます。達成度が低い項目中、「読書をしている」項目は昨年よりさらに下がり最も実現度が低いことが気になります。

2. 保護者アンケート集計と分析

保護者

質問項目	重要度	実現度
子どもは学校に楽しく通っている。	6.7	5.8
子どもに、友だちを大切にするよう働きかけをしている。	6.7	5.7
子どもが先生や友だちから大切にされていると感じている。	6.6	5.5
家族で過ごす時間を大切にしている。	6.5	5.3
子どもに、きまりや約束事を守るよう働きかけをしている。	6.7	5.3
子どもに、礼儀や言葉遣いに気をつけるよう働きかけをしている。	6.6	5.1
子どものことについて、保護者が学校に相談しやすい雰囲気がある。	6.4	5
学校からの配布物やホームページ等で、学校の様子が伝わっている。	6.2	4.9
子どもに、自ら進んであいさつするよう働きかけをしている。	6.5	4.9
子どもが学習内容をどの程度理解しているかをテスト結果や家庭学習などを通して把握しようとしている。	6.5	4.8
子どもに、授業に集中して取り組むよう働きかけをしている。	6.6	4.8
子どもが早寝・早起き・朝ごはんなど規則正しい生活ができるよう働きかけをしている。	6.6	4.8
子どもに家族の一員としての役割(家の手伝いなど)を作るよう正在している。	6.1	4.5
子どもに、家庭学習(塾や家庭教師の時間を含む)の習慣が定着するよう働きかけをしている。	6.4	4.5
学校行事や授業参観、PTA活動等に積極的に参加するよう正在している。	5.5	3.6
子どものケータイ・スマホ・ゲーム等の使い方や時間について、ルールを設定している。	6.3	4
いじめなどで困った時に相談できる「いじめ対策委員会」が学校にあることを知っている。	6	3.6
子どもに、読書の習慣が定着するよう働きかけをしている。	5.7	3.1

○数値の計算方法について

重要度「とても重要である」…7「やや重要である」…5「あまり重要でない」…3「重要でない」…1

実現度「とても出来ている」…7「やや出来ている」…5「あまり出来ていない」…3「出来ていない」…1

※達成度が高い(重要度が高く、重要度と実現度の差が小さい)項目の順に上から並べてあります。

昨年と同様「子どもは学校に楽しく通っている」の項目を保護者の方々は重要だと考えておられていて、その実現度1位となっていることが、学校としても大変うれしく感じるところです。上位の5項目の中で「子どもが先生や友だちから大切にされている」の上昇が一番大きいのが目立ちます。中間評価で見られたコロナでの休校の影響と考えられる実現度が下がった項目は、今回の評価では、昨年度に比べて実現度が上がっている結果となりました。昨年度より実現度が下がった2項目のうち「学校行事や授業参観、PTA活動等に積極的に参加するよう正在している」については、コロナ禍での行事中止やPTAの活動の縮小の影響だと考えられます。もう一つの項目「子どもに、自ら進んであいさつするよう働きかけている」の実現度が下がっているのもコロナ禍で外出が減っていることの影響があると考えられますが、保護者の方々の思いや働きかけが子どもたちの考え方行動に直接結びついているといえますので、今後も子どもたちへの働きかけをお願いしたいです。

生徒アンケートでも実現度が低かった「読書の習慣が定着するよう働きかけをしている」については、今後、学校での図書館の活用等、授業や学活などを活用して考えさせていきます。ご家庭でも今一度、働きかけへのご協力を願いします。